

《十小スタンダード及び全校で統一する取組》

◆はじめとおわりに あいさつしよう ◆必要なものだけ 机の上に ◆よい姿勢で 座ろう「ぐう ぴた ぴん」 ◆「はい」 立つ 「～です」

☆児童の実態に合った問いかけをする ☆教室前面を統一するなど、学習環境のユニバーサル化を図る ☆東京ベーシックドリルの活用

《今年度、学年として、何事にも進んで挑戦し、やる気満々の児童を育てるために系統立てて取り組むこと》

- 学習のゴールイメージをもち、問題を発見し、解決の道筋を考える。
- 学習する過程で、自分の考えを表現し、解決の方法を修正できる。
- 学び合い、考えや学び方を広めたりふかめたりできる。

授業改善に向けた教科ごとの方策 第3学年

教科名	児童の実態	学年末までに期待される児童の姿	具体的な授業改善策(箇条書き)	検証及び修正案
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を読むことが好きな児童もいるが、文章をしっかりと読むのが苦手な児童も多くいる。書いてある意図を正しく理解して、自分の考えを自分の考えを書いて表現することに課題のある児童が1/3程度いる。 ・漢字を正確に書いたり、送り仮名を書いたりすることが苦手な児童が多い。 ・助詞や接続詞を正しく使って、文章を書くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7割の児童が自分の考えに自信をもち、友達に伝え、友だちの考えをしっかりと聞くことができる。 ・主語と述語の関係や文章のねじれ、接続詞や助詞の区別に気を付けながら文章中で、習った漢字を使って文章を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えが引き出せるような問いをするとともに、児童がじっくりと考えられる時間を確保する。 ・小テストを活用し、既習漢字や言葉の学習を繰り返し復習させることで定着を図る。 ・話し合いの活動は、隣同士向き合わず、小さな声で話し合うようにさせる。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の鉄道や道路、土地の使われ方について、府中市の特徴調べを意欲的に取り組む児童は多い。 ・地図や資料を正しく活用することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・八方位や地図記号、府中市の特徴、地図や資料の読み取り方法等の基本的な知識を身に付ける。 ・調べる観点にもとづいて、地図や資料を読み取り、調べて分かったことや自分の考えを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用し、児童全員で地図や資料を共有できるようにする。また、ICTを活用することで、教室の中のみでの学習でも地域の様子を理解できるようにする。 ・地図や資料から読み取れる事実だけでなく、その特徴の理由や自分たちの生活やこれからの生活とも関連付けられるようにするとともに、それらを発表する機会を設ける。 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算の仕方は理解しているが、定着が十分でない児童が1/2程度いる。 ・計算の意味や計算の仕方を自分なりに考えたり、表現したりすることに苦手意識がある児童が多い。 ・文章から必要な情報を読み取り、時刻や時間を求めたり、文章に即して式を立てたりすることが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算練習に意欲的に取り組み、自信をもって正確な計算ができる。 ・計算の意味や計算の仕方を言葉や式、図等を用いて表現し、考えたことを伝えることができる。 ・問題文の中から、求めることやそのための条件は何かということを確認して問題を解く習慣を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の時間を活用し、既習事項の定着を図る。 ・計算の意味や仕方を、言葉や数、式、図、数直線等を用いて説明させる。また、そのための考える時間を確保する。 ・お互いの考えを発表し合う場面を作り、比較したり、関連付けたりすることができるよう支援する。 ・「分かっていること」「求めること」についてアンダーラインを引いて問題を読むようにさせ、正しく立式できるようにする。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活のことと結びつけながら考えることが難しい。 ・観察、実験を楽しみにしているが、事象から思考へと繋がっていない。 ・植物や生き物に関する興味、関心が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、日常生活の身近なことと結びつけ、理由を考えながら予想を立てる。 ・予想と実験結果、または条件を変えた実験結果から導き出されたことについて、分かったことを自分の言葉でまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常での経験を想起させ、自分たちの生活と繋げながら学習を進めるようにする。 ・「課題把握」→「予想」→「観察・実験」→「結果」→「考察」→「結論」という理科の学習の流れで授業展開する。 	
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく授業に参加している児童は多いものの、運動が嫌いで消極的な児童もいる。 ・学び合うという意識は低く、自分ができていればよいという行動が目立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動することの楽しさを実感できる。 ・友達の良さを伝え合ったり、ポイントを意識して運動に取り組んだりすることができる。 ・課題を解決したり、チームの目標を達成したりして喜びを味わうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップを用いて、できた喜びを実感させる。 ・運動に取り組む⇒ポイントを見付ける⇒共有する⇒やってみる⇒振り返るという流れを作る。 ・振り返りの時間を確保し、めあてに対してどうだったのかという振り返りを必ず行う。 ・授業中はマスクをはずしてもよいこととするが、授業中の話し合いは十分距離を取ることや、授業後の手洗いの徹底について指導する。 	
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・数字や気持ちを表す言葉を積極的に発声するなど、英語に親しみをもっている児童が多い。 ・コミュニケーションを主とする活動については、ほとんどの児童が楽しむことができているが、数名の児童が活動に入れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声の違いに気付き、何が好きかなど、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 ・全児童が、英語でのやり取りを楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽やリズムを取り入れて、体で英語を覚えられるようにする。 ・イラストなど視覚的資料を充実させて、英語での表現を身に付けさせる。 ・毎授業の中で、友達と楽しみながら、たくさん英語を使わせるようにする。 ・感染予防のため、ペア交流の時間は1分以内とする。 	

教科名	児童の実態	学年末までに期待される児童の姿	具体的な授業改善策(箇条書き)	検証及び修正案
総合	<ul style="list-style-type: none"> 春の浅間山について、興味をもったことや感じたことをカードに書き、浅間山への関心が高まった。 タブレットを使ってタイピング練習や、プログラミング学習に意欲的に取り組む児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋の浅間山を探検し、春との違いに触れ、分かったことや感じたことをまとめることができる。 浅間山探検や石材店、地域安全マップの学習を通して、身近な地域に興味をもち、進んで調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 探検や森林インストラクターの方からの説明を聞いたり、石材店の方の出前授業をしたりすることを通して、実感を伴った調べ学習を行う。 調べ学習をして分かったこと等を共有させ、次の調べ学習で活用できるようにする。 校外学習の際には、マスクの着用やお喋りをしないことを徹底させる。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 声を出して歌うことに自信のない児童や、音程がとれなくなる児童がみられる。 けんぱんやリコーダーでの演奏に、興味をもって取り組む児童が多い。 活動と活動の切り替わりの時に、不要な音を出したり、話をしたりしてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確な音程をとり、周りのハーモニーを聴きながら歌っている。 けんぱんやリコーダー等を用いて合奏を楽しんでいる。 学習のルールや音楽室でのマナーを守って授業を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> CD をかけ、それに合わせて安心して歌ったり、耳を傾けて自分の声との違いに気を付けたりできるようにする。 ペアや小グループで音を合わせる機会を設ける。 目で見てわかる合図、音を聞いて分かる合図などを活用する。 常にマスクを着用するとともに、大きな声で歌うことのないようにする。 	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 図画工作への興味、関心が高い。 自分の思いを作品に表現することや、集中力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや意図をもって作品を作ることができる。 活動の振り返りや交流を行うことで、自分の作品や友達の作品の良さに気づき、その後の活動に活かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表し方の技能を高めるために、多様な材料を使い、表現活動を行う。 振り返り活動を行うことで、次の活動への意欲につなげる。 無言で作品作りに集中させるとともに、授業後の手洗いを徹底させる。 	